

第 1 日 動 詞

A

【解 答】

1. added の後に to を追加
2. students の後に for を追加
3. care の後に of を追加
4. yourself の後に to を追加
5. down の後に on または upon を追加
6. about を削除
7. me の後に on を追加
8. in を削除

【訳・解説】

1. 「その旅行は彼の知識の量を大いに増やした。」 add to = increase 「増やす, 増大させる」 cf. add ... to ~ 「…を～に加える」
2. 「先生は生徒たちの勤勉さをほめた。」 praise ... for ~ 「…を～のことでほめる」 cf. scold [blame] ... for ~ 「…を～のことで叱る [責める]」
3. 「君は病弱者をよく世話しなければならない。」 take care of ~ 「～を世話する」
4. 「好きなものを何でも自由にお取り下さい。」 help oneself to ~ 「～を自由に取り, 食べる, 飲む, 使う」
5. 「貧しいからといって人を軽蔑してはいけません。」 look down upon ~ = despise ~ 「～を軽蔑する」 ↔ look up to ~ = respect ~
6. 「彼らは, その問題はいかにしたら解かれるかについて話し合った。」 discuss ~ 「～について話し合う」
7. 「彼は私が試験に合格したことを祝ってくれた。」 congratulate ... on ~ 「…に～を祝う」
8. 「彼の結論は事実と一致しない。」 consist with ~ 「～と一致する」 cf. consist of ~ 「～からなる」 consist in ~ 「～にある」

B

【解 答】

1. to 2. after 3. on
4. reminds 5. off

【訳・解説】

1. 「この車は私のものではない。」 belong to ~ 「～に属する, ～のものである」
2. 「ジャックは父親に本当に似ている。」 the very picture of ~ 「～のそっくり生き写し」 take after ~ 「～に似ている」
3. 「あなたは彼の忠告に従いさえすればよ

い。」 All you have to do is to ~ = You have only to ~ 「～さえすればよい」 act on ~ = follow ~ 「～に従う」

4. 「この写真を見ると私は学校時代を思い出す。」 think of ~ 「～を思い出す」 remind ... of ~ 「…に～を思い出させる」
5. 「君はもうこれ以上彼の手紙への返事を後に延ばしてはいけません。」 postpone = put off 「延ばす, 遅らせる」この目的語には名詞または動詞の ing 形を使う。

C

【解 答】

1. I cannot do without this dictionary.
2. You must inform your mother of this news at once.
3. You must not fall behind the times.
4. Catch hold of this rope!
5. He was born and brought up in a country town.

【訳・解説】

1. 「私はこの辞書なしにはやっていけない。」 indispensable 「不可欠な, 絶対必要な」 do without ~ 「～なしですます」
2. 「君はすぐにお母さんにこの知らせを伝えなければいけません。」 inform ... of ~ 「…に～を知らせる, 伝える」
3. 「君は時代に遅れないで行かなければなりません。」 keep up with ~ = keep abreast of ~ 「～に遅れないでついていく」 fall behind ~ 「～より遅れる」
4. 「このロープにつかまちなさい！」 hold onto [on to] ~ = catch hold of ~ 「～をつかむ, つかまえる」
5. 「彼は田舎町で生まれ育った。」 be raised = be brought up 「育てられる」 I was born and brought up in ~ と覚えるとよい。

D

【解 答】

1. そのような行為は疑いを引き起こすだろう。
2. 彼女は人混みの中で息子を見失った。
3. 私は知らない単語はすべて辞書で調べることにしている。
4. さあ, 堅苦しいことはすべてやめにしましょう。
5. 私は彼が何を望んでいるか理解できない。

【訳 説】

1. give rise to ~ 「～を引き起こす」 cf. give

birth to ~ 「～を生む」

- lose sight of ~ 「～を見失う」 ⇔ catch sight of ~ 「～を見つける」
- make it a rule to ~ 「～することにする」 look up ~ in a dictionary 「～を辞書で調べる」
- do away with ~ = abolish ~ 「～を廃止する, やめにする」これはパーティなどで挨拶が一通り終わった後で司会者が言う言葉。
- make out は see (見分ける), hear (聞き分ける), understand (理解する) の意味。この種の意味の make out は疑問詞の節が目的語となるのが普通である。

第2日 助動詞

A

【解答】

- Can
- should
- must
- might
- cannot
- should
- may (or might)
- may
- would
- May

【訳・解説】

- 「彼が自殺したなんて一体本当かしら。」
Can it be true that ... ? = It cannot be true that ... 「…は一体本当かしら, …は本当のはずがない」
- 「だれが入ってきたかと思えば, ほかでもない私たちが噂していたその人だった。」
Who should ... but ~ 「だれが…したかと思えばほかでもない～だった」 この should は驚き・意外などの感情を表す。B5, 6の問題文も同様。
- 「ずっと歩いてきたとは君は健脚に違いない。」
to 不定詞は must (～にちがいない) という判断の理由を表す。
- 「彼はバスが止まるように手を挙げた。」
(in order) that + S + may ~ (Sが～するよう) = so that + S + may ~
- 「彼が去ってから30分しかたっていない。彼はまだそこに着いたはずがないと私は思う。」
cannot have + 過去分詞 「～したはずがない」最後の yet から否定文と判断する。
- 「彼がこの罰に値するとは彼は何をしたのですか。」
that + S + should ~ 「～するとは」判断を表す節。
- 「事を不完全にしか知らないよりはまったく知らないほうがいい。」
may [might] as well ... as ~ 「～よりは…のほうがいい」not の位置に注意。
- 「私はその本を読んだことがあるかもしれないが, 読んだことをほとんど覚えていない。」
may ... but ~ (…かもしれないが～) の構文。may have + 過去分詞 「～した(ことがある) かもしれない」 I have の後には read the book が省略されている。このようなどきの助動詞は強く発音される。
- 「この事業に成功したいと思う者は, いつも時間を守らなければならない。」
would = wish to 「～したいと思う」文語的用法で強い願望を表す would の用法。

- 「あなたが無事にお帰りになりますように！」
May + S + ~ ! 「Sが～するよう」祈願文の語順。

B

【解答】

- I would rather sit than stand.
- He may well be angry with you.
- He must have been thirty when I first met him.
- You had better not drink too much.
- He cannot have failed in the exam.
- You may well be disappointed.
- He would think in the armchair for hours.
- We should have studied harder when we were at school.
- I walked as quietly as possible lest the baby should wake up.
- He would often be scolded by his mother.

【訳・解説】

- 「私は立っているより座っているほうがいい。」
would rather ... than ~ (～するより…したい) を使えば prefer ... to ~ の意味が出る。
- 「彼があなたに腹を立てるのももっともだ。」
has good reason (もっともな理由がある) の意味を may well ~ (～するのももっともだ) で表す。
- 「初めて彼に会ったとき彼はきっと30歳だった。」
I am sure he was を He must have been で言い換える。must have + 過去分詞 「～であった [した] にちがいない」
- 「私はあなたに飲み過ぎないように忠告する。」
I advise you not to ~ を You had better not ~ に言い換える。なお, had better (not) ~ は 「～(しないように) 下さい」ぐらいの命令に近い意味を持つ。日本語の 「～したほうがいい」には You should ~ を使うとよい。
- 「彼が試験に落ちたなんてあり得ないよ。」
It is impossible that + S + should have + 過去分詞を cannot have + 過去分詞で言い換える。前者の should については A2, cannot have + 過去分詞は A5 参照。
- 「あなたが失望するのはもっともだ。」
It is natural that + S + should ~ (～するのももっともだ) を S + may well ~ に言い換え

る。B2参照。

- 「彼は何時間も肘掛けイスに座って考えるのが習慣だった。」
was in the habit of ~ing は過去の習慣を表すから would (～したものだった) で言い換える。
- 「私たちは学校時代にもっと一生懸命勉強すべきだった。」
過去を示す when の節をつけると 「勉強すべきだった」と過去のことに ついて非難・悔恨を表す should have + 過去分詞の言い方に換える。
- 「私は赤ん坊が目覚まさないようにできるだけ静かに歩いた。」
so that + S + may not ~ (Sが～しないように) を lest + S + should ~ で言い換える。なお, lest + S + should は文語調である。
- 「彼にはよくあることだったが, 彼は母親に叱られた。」
As is [was] often the case with ~ (～にはよくあることだが [だったが]) を would often ~ で言い換える。

C

【解答】

- must have ridden
- cannot have written
- may as well
- May I use
- would rather

【訳・解説】

- 「彼が私の自転車に乗ったに違いない。」
I am sure he rode を He must have ridden に言い換える。B3参照。
- 「彼女が自分でその手紙を書いたなんて信じられない。」
incredible (信じられない) から強い否定の推量表現で書き換える。A5参照。
- 「あなたは2階で待つほうがいい。」
had better を may as well に言い換える。A7および B4参照。
- 「あなたの辞書を借りていいですか。」
Would you mind my ~ing? は 「私が～してもいいですか」と許しを請う表現だから, May I ~? を使う。
- 「私は映画を見に行くより散歩に行くほうがいい。」
B1参照。